

日光小田代ヶ原スノーシュー山行報告



【山行日】 2016年2月11日(木) 快晴
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:00
【費 用】 マイカー2台 : 2,300円
【メンバー】 CL: 鈴木ユ、石川、岩淵、大西、
梶内、島田、関、福田夕、藤原、松館、渡辺
【コースタイム】 栃木市運動公園P7:00＝
三本松「竜胆」8:30/9:05＝泉門ノ池 10:00/10:10～
小田代ヶ原 11:20/12:10～赤沼 13:10/13:20～三本
松「竜胆」13:40/13:50＝栃木市運動公園P15:20

スノーシューハイクの希望があり、今年は小田代ヶ原を歩くコースを計画した。

今年も高気圧が日本列島のど真ん中に移動し、絶好のスノーシュー日和に恵まれ超ラッキー。いろは坂には雪がほとんど無く、予定通り三本松の「竜胆」に着く。予約したスノーシューのレンタル代金を支払うと、なんと700円で借りられた。準備をして各自スノーシューを借り、遊歩道入口まで移動しストレッチを行う。スノーシューを履きスタートし、初めてのの人に歩き方を教える。今年も雪は少なく、大勢歩いたトレースは踏み固



められとても歩き易い。光徳入口の先で国道を横切り、戦場ヶ原の遊歩道を通り泉門ノ池へ向かう。去年は初めての方が多く、キャーキャー賑やかに歩いたが今年はなぜか静かに歩いている。しばらく歩くと分岐に当たり、左に階段を降りて小田代橋を渡ると間もなく泉門ノ池に着いた。テーブルの雪をスコップで避けて、コーヒータイムとしりngoや菓子を食べ雪景色を楽しむ。ここから赤沼方面へ少し進み、分岐

を標識に従って右の小田代ヶ原へ向かった。ミズナラ林は広々として爽快で、ルンルン気分で気持ちよく歩ける。シカ避け柵のゲートをくぐると小田代ヶ原で、広い木道に雪が載った上を歩くようになり日光連山の眺望がすばらしい。立ち止まって山座同定を行い、男体山から順に山名を確認して行く。歩く所が高い分、戦場ヶ原よりも眺望は良いと感じた。小田代ヶ原展望台には多くのハイカー





が休憩しており、我々も空いているテーブルでランチタイムとする。テーブルの下の雪を掻き出し、足が入るようにしてキノコうどんを作る。ほうれん草のおひたしやのヤーコンとセロリのきんぴら等美味しくいただき出発する。柳沢林道を少し歩き、左のシカ避け柵ゲートから赤沼茶屋へ向かい小田代歩道を歩いて行く。林の中少しアップダウンがある道を歩き、K内氏はトレースのない雪の上を楽しそうに歩いて行く。途中小休止したところでは、徳ちゃんが大の字に寝ころび楽し

そう。I&I コンビはスノーシューの重みで疲れた様子で、「楽しい？」と聞いたら「ウ〜ン」といまいちの返事が返ってきた。どうやらお年寄りのほうが、童心に帰って楽しんでいるみたいだ。

湯川に掛かる橋を渡り、左に進み赤沼分岐を右に曲がると間もなく赤沼茶屋に着く。東屋でスノーシューを外し、国道を歩いて三本松まで戻る。借りたスノーシューを返し、トイレを済ませて帰路につく。

素晴らしい天気恵まれ、雪の小田代ヶ原や日光連山の絶景を堪能でき大満足の日だった。

